

ご入園・進級 おめでとうございます。

～安心感から始まる

継続的な楽しい保育～

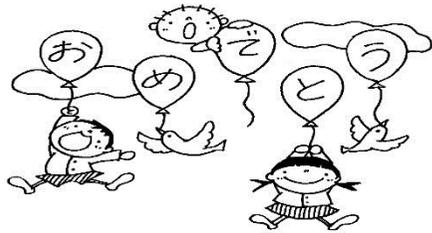
柔らかい春の日ざしが心地よい4月。新入児16名を迎え、141名の乳幼児でスタートします。(途中の入園14名の予定)本年度も微妙福祉会の保育理念の下、『子どもの最善の利益』のために保護者の皆様と協力し合いながら、保育者の役割を今一度見つめ直し、『安心感から始まる継続的な保育』を目指し、信頼される保育園運営していきたいと思っています。

少子化現象はさらに加速することでしょう。ニュースでも頻繁に「子どもの虐待」「子どもの貧困」「親の子育て不安」などがキーワードとなっています。子育てを取り巻く環境はより深刻になっていると言っても過言ではないでしょう。

それだけに、保育の質の向上が問われることは言うまでもありません。

『0歳からの幼児教育』『選択と集中のできる環境の工夫と主体的な学び』『一人ひとりを大切にしながら個と集団を生かした保育』『対話的な関わりから協同的な学びへ』。今年度も引き続き「全体的な計画」や「指導計画」に基づき、資質・能力を育む教育・保育を目指し、自分で自己決定できる、質の高い楽しい保育を展開していきたいと思っています。

また、今年度は広島県教育委員会からの依頼で、教員の幼児教育長期派遣研修を受諾し、坂町立横浜小学校より舞幸江教諭が、一年間坂みみょう保育園で保育補助員として研修を深められることになりました。小学校へのスムーズな接続のための、子ども理解を深める研修は、私達保育園の職員にとっても保育の質を高めていく絶好なチャンスだと捉えています。坂町内の保育園、こども園、小学校との保小連携協議会とも情報を共有しながら、子ども達の思いを探る方向性で進めていきたいと思っています。



もう一つは、保護者の皆様や地域の皆様から知恵をいただきながら保育環境の整備もしてみたいと思っています。幸いなことに地域の民生委員児童委員の正原美恵子様、寺廻千晶様、高下道寿様、中本明雄様の四名の皆様が菜園活動、食育活動のご指導やお手伝いをしていただくことになりました。保護者の皆様にも園庭の改造や倉庫作りのお手伝いやあそびの楽しさを共有する環境作りのアイデアをいただくこともあるかと思しますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

4月は、進級、入園の子ども達も新しい環境に慣れようと一生懸命です。保護者の皆様や職員も新しい出会いの中で、不安感を持つことも多いことでしょう。子ども達が安心して過ごせる場として、情報を共有し合うことが重要になります。また、保育の見える化の工夫として、生活やあそびの様子を携帯メールで配信(キッズノート・後日お知らせ)も開始する予定にしております。

保育園での安心、安全を考える時、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染者数の拡大は、脅威としか言いようがありません。保育園の年間の行事予定を配布しておりますが、刻々と変化する状況においては、変更や延期なども覚悟をしながら進めなければならないとも感じております。新しい保護者会さくらんぼ会の役員の皆様を窓口として、ご相談も多くなるかとは思いますが、よろしく願いいたします。

安心できる環境の中での保育は、重要な課題です。子ども達を取り巻く環境の変化に対応しながら、保護者の皆様や地域の皆様にご支援、ご協力をいただき『安心できる楽しい保育』を目指します。

一年間ご支援、ご協力をよろしく願いいたします。

(坂みみょう保育園 園長 倉本弘子)